

十月の手技指針

目白幼稚園 和田 實

十月とは云ふものゝ、此冊子を會員諸君の御覽になるのは多分月の半ば頃だらうと思ひますので、茲には十月中旬から十一月中旬頃の分を考へることにせませう。尤も、所に因つて、多少早い晚いがありませうが、重に、東京附近を主として書きます。他は然る可く御類推を願ふことにせませう。

(一) 幼兒の生活上、此月の初め頃には衣變(更衣)と云ふ、著るしい事項があつて、子供には人々の衣服、服装と云ふことに多分の注意を拂つたことゝ、思ひますから、當分は人形の更衣、紙細工の着せ變へ人形など手技と遊びとの混合した、

あばさん遊び、飯事遊び(まじ)、ピクニックごつこ等が尤も相應はしい仕事でせう。飯事の材料として自然物は豊富にあり、着物の材料としては、色紙が種々澤山にあります。

(二) 街上の變化としては冬物の賣出しが始まることです。賣り出しの宣傳やら、廣告やら、一としきり賑やかなこととせう。チンドンやの眞似、樂隊の眞似はよい音樂の練習とせう。手技としては木の葉を材料とした笛の製作、すゝきの穂や、もみぢした木の葉での裝飾夫れ等を材料としての樂隊遊びは男兒の面白い遊びとせう。勿論、是には九月の中頃から十月の中旬に掛けての鎮守のあ

祭りの影響も大きいこととせうから、御興の眞似も交ることとせう。御興の製作もよい手技の一つであります。少し手の混んだものは先生の手傳を要しますが、共同遊びの促進のためには大きな利益とせう。危険のない位な稍太き木の棒と多少の板とを出して、他は色々の自然物を材料とするとよいと思ひます。

(三) 自然の變化。としては何としても落葉と紅葉と果實ととせう。之を材料としては貼り繪が出来る。模擬品が出来る。種々の人形も出来る。紅葉した木の葉を圖畫紙や羅沙紙の上に色々にはりつけたり、多少、缺など入れてしたりなどすると、中々面白い貼り繪になります。草や木の葉や木の實を材料とした模造品も色々と工夫が出来るとせう。此月ほど手技手工の澤山、出来る月は一才外にないのですから、幼稚園では中々忙しいとせう。大に子供を獎勵して、製作興味をそゝつて

やつて子供を大に忙しく、勤勉に働かせるのが必要です。木の葉の色別分類遊びも一つのよい遊びとせう。手技、手工ばかりでなく、木の實拾ひも是非したいものです。否、木の實拾ひばかりでなく、收穫遊びもしたいものです。草の實を集めることもよいとせう。どんぐり拾ひも必要です。都會では態々芋堀りなどの催ふしをしますが、夫れ程でなくとも色々機會と材料はあるとせう。序に一寸脱線しますが、東京附近などでよく催される學校生徒の芋堀りは幼稚園の子供にとつては餘りほめた催ふしではありません。場所が人糞を充分に撒いてある微菌だらけの畑ですから、疫痢などに罹り易い幼兒には餘り感心しない催ふしであります。兎に角、收穫に關する色々の事は觀察事項としても面白いし、其結果は手技にもなり、圖畫にもなり、玩具にもなるし、(葎類も忘れぬやう)秋は何にしても先生と子どもの忙しい時でありま

す。是に連れて

(四) 催ふし事、として遠足、の流行すること
は何よりよい保育事項であります。幼稚園とし
ては餘り感心しません。其理由は少し大きい脱線
になりますから今は止めますが、夫れよりも秋晴
れのよい一日を選んで適當の場所で、幼稚園に相
應はしい運動會を催ふことが最もよい保育事項
だと思ひます。運動會を催ふずに就いては先生以
外の補助者を豊富に頼んで先生は主として幼兒の
活動を指導する方面にのみ力を用ゐる様に組み
立てることが肝要です。此爲めの準備と其結果と
は或は手技の促進となり(旗造り、競技用品つく
り等)圖畫技術の向上となり、保育上には幾多の
好結果を生みませう。お月見も十月の六日が十五
夜、十一月の三日が十三夜ですから是も相當に材
料となるでせう。觀察も度々繰返されるでせう。
繪も色々出来るでせう。お供したおだんごはふか

し直して「しんこ」細工となります。すゝき、は
たんぼ槍、傘など玩具が出来ます。また粘土で是
等の眞似も出来ます。

(五) 菊の花。よい保育材料です。先づ充分に
觀察することです。材料は度々に出すが宜しい。
繰り返しおもちゃにして居る間に、花と葉と莖と
根とに就いて充分に觀察出来るでせう。觀察し、
おもちゃにする度に、一部分づゝ確かに智覺を進
める様に指導することが肝要です。圖畫としては
色々塗る繪が出来、寫生畫が出来るでせう。觀
察した後の材料で臺紙の上に貼り繪が色々出来
ませう。飯事の材料にもなりません。また、反對
に紙や Teppa や其他のもので、菊の花の模造も出
来るでせう。皇室の御紋章もはつきりわかりませ
う。貼り繪、塗り繪、充分に確實に知覺させま
せう。

(六) 十一月初めの重なる社會事項として明治

節(十一月三日)と十五日の七五三のお祝ですが、明治節の方は崇敬なる神事として取扱つて、お話と圖畫の材料を工夫するがよいでせう。此時、處々で運動會の催ふしがあるでせう、見物させることです。七五三のお祝は子供同士のお祝氣分を出すことだけでよいと思ひます。其爲めに手工品の進物を造ることは相應はしいでせう。後の仕事として明治節と同じく自由繪や塗り繪の材料となることとせう。

(七) 霜に就いての觀察が出来ます。霜よけの作業も出来きます。霜よけは色々の方式がありますし、其形のきれいなのがありますから、圖畫寫生の材料とするに適當です。枯れ草で之を眞似造くりするのも興ある手工です。

以上で、十月半ばから十一月の初めに掛けての手技關係の事項は大要を盡くして居ると思ひます。が具體案として今少し詳細に書く積りで、編輯の

方とは御約束したのですが、丁度第二目幼稚園と保姆養成所の建築工事に掛る處なので、非常に多忙で、十分に御約束を果すことが出来ませんでした。後日に補訂をいたすことにして御許しを願ひます。

(本稿は爾後一ヶ年、毎月、御執筆いたゞける事になりました。編輯者)

家庭教育指導者

講習會と家庭教育展覽會

右何れも文部省主催。

講習會のうち、大阪に於ける分は既に九月三十日より十月四日迄、盛會裡に修了された。

なほ來十一月五日より十一月八日まで、九州福岡市でも同様のものが開催される。展覽會は、十一月、東京、大阪兩市に開催、